

2023年7月28日
 沖縄ツーリスト株式会社
 沖縄電力株式会社
 沖縄新エネ開発株式会社



**沖縄ツーリスト レンタカーステーションへの
 かりーるーふ（太陽光第三者所有モデル）の運用開始について
 ～脱炭素と防災機能強化により、地域貢献をさらに推進します～**

この度、沖縄ツーリスト（代表取締役会長 東良和 以下、「OTS」）と沖縄電力グループの沖縄新エネ開発株式会社（代表取締役社長 嘉味田朝紀 以下「沖縄新エネ開発」）は、OTS 豊崎レンタカーステーション（豊見城市豊崎地区）において、「かりーるーふ※（太陽光第三者所有モデル）」の運用を開始しました。太陽光発電設備（65kW）を設置することで、同施設が使用する年間使用電力量の約50%が太陽光発電により供給され、年間約84t（杉の木約9,600本分）のCO2削減が見込まれます。

OTS では地場企業の強みを生かし県民や地域事業者と一緒に進める”OTSらしいSDGs”を掲げ、「脱炭素」と「防災機能強化」による地域貢献の取り組みの一環としてかりーるーふを導入しました。太陽光発電量は、レンタカーステーションでリアルタイムに表示しており、ご利用のお客さまが確認することができます。また、台風等の災害による停電時、1Fロビーに設置した蓄電池コンセントから電気を使用することができるため、災害時に居合わせたお客さまに対してスマートフォンの充電利用として開放する予定です。さらに、執務室にも蓄電池コンセントを設置することで、BCP（事業継続計画）の機能強化にも繋げていきます。

工場や商業施設で多く利用されている折板屋根への初めての「かりーるーふ」導入であり、モデルケースとなります。これは沖縄電力グループが目指す「2050年CO2排出ネットゼロ」実現に向け、再エネ主力化を一層推進する取り組みにも繋がります。

3社は本サービスの導入を通して、今後も沖縄県の持続可能な社会づくりに向けた取り組みを推進してまいります。

※ 「かりーるーふ」は、太陽光発電設備と蓄電池を初期投資ゼロで設置し、発電した電気をお客さまに販売するサービス。ご検討から導入、メンテ、撤去まで沖縄新エネ開発がワンストップで対応する。

<OTS 豊崎レンタカーステーション>



<今回設置するシステム>

- ・太陽光発電設備(出力)：65 kW
- ・蓄電池：13.5 kWh

非常用コンセント

	照明スタンド	26.5W×10灯
	パソコン	85W×2台
	複合機	70W×1台

計500Wなら27時間利用可能

以上